

2007年度 第10回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<確定稿>

開催日時：2008年2月12日(火) 午後7時15分～9時10分
開催場所：田無総合福祉センター 第3会議室
出席委員：阿部靖子、飯塚 睦、坂口和隆、瀧島喜重、安岡厚子、柳澤正樹
山下恭子、渡辺美恵<以上8名、敬称略、あいうえお順>
欠席委員：熊田博喜<以上1名、敬称略>
事務局：齊藤 睦(地域福祉課長) 中澤一郎(主事) 川崎 圭(主事)
今林朝香(コーディネーター) 丸木 敦(係長)

配布資料

- 資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(1月)
- 資料 2：コーディネート状況等月次報告
- 資料 3：西東京ボランティア・市民活動センター予定表(2月)
- 資料 4：西東京市地域防災計画修正(素案)に関する意見(パブリックコメント)
- 資料 5：講演会・ワークショップ『災害時の要援護者への支援を考えよう』実施報告
- 資料 6：2007年度第9回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<未定稿>
- 資料 7：西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会設置規則(改正案)
- 資料 8：2008年度西東京ボランティア・市民活動センター事業計画(案)
- 資料 9：2008年度ボランティア・市民活動経理区分 経費積算資料
- 資料 10：都立高等学校における教育活動支援業務委託(都立保谷高等学校)
- 資料 11：西東京ボランティア・市民活動センターの今後の取り組み

委員長：委員一人から欠席の連絡、また1名が遅れるとの連絡があり他の委員はすでに出席いただいているのでこれから運営委員会を始める。今日から各委員の活動紹介を行う学習会がなくなったので、審議の時間を多くとりたい。では報告事項から始める。

1. 報 告 事 項

(1). 西東京ボランティア・市民活動センター業務報告

1月期の業務報告

事務局より、資料1に基づき1月に行われた主な事業についての報告が行われた。

委員長：事務局から報告があったが、委員から質問や意見はあるか。ボランティアのつどいの紹介はいつするのか。

事務局：今、説明させていただきたい。3月8日土曜日に田無総合福祉センターを使って、これから活動を始めたいという人たちを対象に行う。講演会とシンポジウム、パーティを行う計画となっている。パーティでは活動者とこれから活動を始めたい人が交流できるようにしたい。

委員長：参加は無料か。

事務局：無料で行う。

他に質問、意見なく、1月期の業務報告を終了する。

1月期のコーディネート状況報告

委員長：では続いてコーディネート状況の報告をしてほしい。

事務局より、資料2に基づき1月のコーディネート状況の報告が行われた。

委員長：質問、意見はあるか。

質問、意見なく、1月期のコーディネート状況の報告を終了する。

2月期の業務予定

委員長：続いて2月の業務予定について説明してほしい。

事務局より、資料3に基づき2月期の業務についての説明がある。また、配布されたチラシにより春！体験ボランティアの説明がある。

委員長：2月の予定の説明があったが、質問はあるか。保谷高校で奉仕活動が行われたようだが報告してほしい。

事務局：2月9日土曜日に実施された。バリアフリー、防災、安全という視点でまちを点検することを中心に行われた。午前中にまちの点検、午後にマップづくりを行った。

委員長：市が行った市民活動団体との協働に関する意見交換会の報告をしてほしい。

事務局：2月7日木曜日に午後6時から、昨年12月に続いて第2回目の意見交換会が行われた。今回は前回に出された意見をどのように反映したかの説明が市職員からあり、さらにそれに対する意見交換という形で進められていた。印象に残っているのは、そもそもこの基本方針の位置づけがどこにあるのかということと、協働の考え方についての議論が中心となっていた点だ。

委員長：インギルの1階に市民活動支援センターをつくるにあたって予算化するという事になっているようだ。それに伴い、どのようなセンターとしていくのかを実行委員会を組織し検討していく予定のようだ。極力、西東京ボランティア・市民活動センターからも職員あるいは運営委員が実行委員会に関わるように市へ伝えてきたし、これからも言っていきたいと思っている。委員から何かあるか。

委員：この協働の基本方針で市民や市民活動団体をどうやって市職員と絡ませるかを考えているようだが、今回のこの基本方針作成を、主として担当している職員は東京都から来ている職員なのでいずれ東京都へ帰ることになると思う。その後どうなるかが心配なところだ。

他に質問、意見なく、以上をもって2月期の業務予定の説明を終了する。

(2).災害時のシステムづくり専門委員会活動報告

資料4、5に基づき、西東京市地域防災計画修正（素案）に対してパブリックコメントを西東京市へ提出したこと、および2月2日に開催した講演会・ワークショップ『災害時の要援護者への支援を考えよう』の実施報告が事務局から行われる。

委員長：パブリックコメントに対しての市の回答が出たら運営委員会で報告してほしい。

事務局：3月に出ると聞いているので、市の答えが出たら報告する。

委員長：2月2日に行われた講演会に参加したが、民生委員やマンションに住んでいる方から課題が出されていた。ボランティア・市民活動センターとしてもう少し防災について取り組ん

でいってもよいのではないか。

委員：このパブリックコメントにある当事者とは誰を指すのか。

委員長：高齢者、障がい者、外国人など災害が起きたときに支援を必要とする人だと思う。

委員長：専門委員会は3月で閉じる予定だったが、今後、災害についての取り組みをどのようにするのか事務局の考えはどうか。

事務局：2月2日の講演会の最後でも参加者に報告したが、2008年度事業として自治会再生プロジェクトを考えている。ワークショップでの意見でも多く出された隣近所との関係の大切さを考え、自治会やそれに似た組織の機能をもう一度見直し、災害時にも有効な組織を地域の中に作っていくことを考えている。その中で災害という視点を取り入れていきたいと思っている。

他に質問、意見なく災害時のシステムづくり専門委員会の報告を終了する。

2. 審 議 事 項

(1). 2007年度第9回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録について

資料6により、第9回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録の確認を行う。

委員長：訂正などの意見はあるか。

委員：8ページの13行目、「市川房江記念会」を「市川房枝記念会」とするように。

以上の修正意見が出され、他に訂正、削除、追加などの意見なく、1箇所を訂正したうえで第9回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録（未定稿）を確定稿とすることを承認した。

(2). 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会設置規則改正（案）について

事務局から資料7に基づき担当理事としての任期と運営委員としての任期の関係について運営委員会設置規則を改正する案についての説明、提案がある。

委員長：改正案に対して何か問題はあるか。特になければこれで確定してよいか。

委員：改正についてはこれでよいと思う。質問だが、副委員長は運営委員長に事故があったときに担当理事になるのか。

委員長：担当理事は、別のところで決めることになるので、運営委員長に事故があった時に、副委員長として担当理事になることはない。

委員長：事務局提案を承認してよいか。

反対意見なく、事務局案のとおり西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会設置規則改正案を承認した。

委員長：4月から新たに加える委員の候補者についての議論はどうだったか。

事務局：以前の運営委員会で事務局の案に加えて運営委員長から候補者を出していただき、その候補者でよいのではないかという意見が多かった。が、規則改正に伴い再度検討することとなっていた。追加で配布した資料の名簿のとおりとなっている。

委員：社会教育関係の人はこれからの西東京ボランティア・市民活動センターにとって必要な人材ではないかと思う。

委員長：他に意見はあるか。では反対意見がないようなので、事務局からその候補者に打診してほしい。

事務局から第1候補者に委員就任の打診をすることを確認した。

(3). 2008年度西東京ボランティア・市民活動センター事業計画および予算について

事務局より、資料8に基づき2008年度のボランティア・市民活動センター事業計画案について説明、提案がある。

委員長：事業計画を立てる際に、可能なものでよいので数値目標を設定し、その目標に対してどのように努力をしていくのかを考えてはどうか。事業計画としてはこれでよいが、目標値を含めたものを運営委員会の中で出してほしい。また、組織内で努力していくという内容の計画と、社会へ向けてこういった事業を行っていくということを示した計画とに分けたほうが良いと思う。

委員長：では、事務局提案の事業計画を最初から見ていきたい。まず、重点取り組み事項はどうか。

委員：これで目いっぱいではないかと思う。中間支援組織を担っていくことに向けて取り組んでいくことになると思うので、行政と話していくきっかけがここでできたので、実現していく上ではこの重点取り組み事項で精一杯ではないかと思う。

委員長：広報活動についてはどうか。

委員：ぼらんていあ倶楽部は広報のメインの活動にあると思うが、中間支援機能を担うにあたり、来年度はどのような内容にするのか、どうやって工夫をするのか。

事務局：今年度、ぼらんていあ倶楽部を発行するごとにアンケートをとっているが回収率が100通に対して2通くらいと悪い。しかし、その結果を見るとめいてん探し隊などの記事は読まれている。このような記事を増やし親しまれる内容にすることも必要かと思っている。

委員長：発行に関しての年間計画を立てているのか。

事務局：発行ごとに内容を検討しており、年間計画は立てていない。

委員：ぼらんていあ倶楽部を発行するにあたっては、ぜひ工夫をしてほしい。

事務局：工夫の一つとして今後、ボランティアの力を借りたいと思っている。

委員：メールニュースはボリュームが多くなっている。

委員長：内容が充実してきているので、早く一般公開してニュースをほしい人が見られるようにしたほうが良い。

委員：情報紙は発行したら終わりという感覚になってしまうので、発行した後のことも考えることが重要だ。ぼらんていあ倶楽部を置く場所などを工夫したらどうか。

事務局：マックスバリュ、郵便局、公民館などにおいてもらっている。

委員長：理事や運営委員に配ってもらうこともできるのではないかと。今年度発行する予定になっているセンターニュースについて報告してほしい。

事務局：現在、レイアウトを作成し直している。また、活動している人に原稿依頼をしているところで、4月1日または15日発行を目標に作成している。

委員長：研修事業について意見はあるか。

委員：自治会再生プロジェクトがイメージできないのだが、どのようなことを考えているのか。

事務局：すでに自治会が組織されているが、それが機能していないところだけを対象にするのではなく、市内では自治会のない地域も多くある。自治会機能を見直して新たに自治会を組織していくような働きかけをこの企画でしていきたいと思っている。近隣関係の必要性を考えてもらえるようなものになりたい。その中で災害という視点も取り入れていけたら良いと思っている。

委員長：社会福祉協議会が取り組んでいるふれあいのまちづくりとの関係を整理しながら実施する必要があると思う。では、ネットワークづくり事業についてはどうか。

委員：企業の懇談会の開催には最初の段階から関わっていきたいと思う。企業として地域に出ていく取り組みをしているが、まわりの企業とのつながりがほとんどない状態。この懇談会をきっかけに知らなかった企業とつながればありがたいと思う。

委員長：企業が1%クラブという取り組みをしており、先進事例があるかもしれないので調べてはどうか。

委員長：都立高校の奉仕活動では他の地域のボランティアセンター等と情報交換をしているのか。

事務局：いろいろな場面で情報交換をしている。今日も東京都教育庁が行う集まりがあり各地域の取り組み状況や課題について意見交換をしてきたところだ。

事務局：都立保谷高校では報告事項のところでも報告をしたが、2月9日に対象学年の全生徒による奉仕活動が行われた。これは担当職員が目白大学の教授とつながりをつけて協力しても

らうことにより、バリアフリー、災害、安全という視点でまちの点検を行いマップ作りを行った。これには目白大学、武蔵野大学の学生総勢30名の協力を得て行うことができた。ボランティア・市民活動センターが関わることによって高校と大学などをつなげていくことができたのではないかと思う。

委員長：こういった事例をもっとPRしていくことが必要だ。奉仕活動に関する予算はどうなっているのか。

事務局：来年度は東京都教育庁との間で委託契約を結び、教育支援コーディネーターを担っていきたいと思っている。この考えで進めてよいかどうか検討していただきたい。

委員長：ではその際の詳細な内容と予算についてはどうなるか。

事務局：関わり方によりABCの3つのランクがあり、一番関わりの大きなAランクで委託契約を結びたいと考えている。その詳細については配布資料10のとおりとなっている。Aランクでの予算は700,000円となっており、その中にコーディネート料的な性格の使途も含まれている。

委員長：事務局案のとおり受託することでよいか。

反対意見なく全員一致により、2008年度に教育支援コーディネーターを受託することについて承認される。

委員長：予算として資料9があるが、ボランティア・市民活動センターの2008年度予算はどうするか。

事務局：西東京市から補助金の内示額が今日示されたばかりなので、今日配布した予算案はそれを加味していない。2008年度の市補助金額は今年度同額の内示が出た。3月開催の運営委員会で検討していただきたい。

委員長：それで間に合うか。

事務局：法人内での事業計画案、予算案提出のスケジュールがあるので、もしかしたら次回運営委員会ではご報告という形になるかもしれない。

委員長：間に合わない場合は、運営委員長が事前に目を通して、今までの議論を尊重した形で確認をすることにしたい。

事務局から提出された2008年度事業計画案を反対意見なく承認した。予算案については、3月開催の運営委員会で審議することとしたが、スケジュール上間に合わなければ運営委員長と協議のうえ法人内で手続きをすすめる、次回運営委員会で報告することを確認した。

(4).西東京ボランティア・市民活動センターのこれからについて

協議事項(4)については、本日の閉会時間をすでに過ぎたため、3月に開催する運営委員会で協議することを確認した。

以上をもって、2007年度第10回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の審議を終了し、散会する。